

防災対策調査特別委員会会議記録

- 1 期 日 令和 2 年 11 月 17 日（火）
午前 9 時 30 分 開会
午前 10 時 53 分 閉会
- 2 場 所 第 1 委員会室
- 3 出席委員 委員長 足田 仁司
副委員長 土生田 仁志
委員 浅田 徹、奥村 忠俊、
清水 寛、椿野 仁司、
福田 嗣久
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主査 伊藤 八千代
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

防災対策調査特別委員長 足田 仁司

防災対策調査特別委員会 次第

日 時：2020 年 11 月 17 日（火）9：30～

場 所：第 1 委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 自己紹介 《別紙 名簿》

議 員（正副委員長、各委員） → 当 局 → 事務局

4 協議・報告事項

（1） 席次の指定について 《別紙 席次案》

（2） 委員会所管事項について 《別添 事務概要》

- 政策調整部 防災課
- 都市整備部 建設課
- 上下水道部 下水道課

（3） 委員会の運営方針について

- ・ 設置要綱 （別紙 1）
- ・ 重点調査事項（案） （別紙 2）

（4） 委員の選出について （別紙 3）

（5） その他

5 閉 会

防災対策調査特別委員会名簿

【委 員】

職 名	氏 名
委 員 長	足 田 仁 司
副 委 員 長	土生田 仁 志
委 員	浅 田 徹
委 員	奥 村 忠 俊
委 員	清 水 寛
委 員	椿 野 仁 司
委 員	福 田 嗣 久

7 名

【当 局】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
防 災 監	宮田 索	防災課長	原田 泰三
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男
		農林水産課参事	井垣 敬司
都市整備部参事	河本 行正	建設課長	富森 靖彦
上下水道部長	米田 眞一	下水道課長	石津 隆
		下水道課参事兼係長	堀田 政司
城崎振興局長	熊毛 好弘	地域振興課長	谷垣 一哉
竹野振興局長	瀧下 貴也	地域振興課参事	山根 哲也
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課長	中川 光典
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課長	今井 謙二
但東振興局長	羽尻 泰広	地域振興課長	夫石 英明
消防長	桙田 貴行	本部参事	金納 広行
		本部参事	井崎 博之

22名

【議会事務局】

職 名	氏 名
主査	伊藤八千代

午前9時30分開会

○委員長（足田 仁司） おはようございます。定刻より少し早いですけど、皆さんおそろいようですので、防災対策調査特別委員会を開会いたします。

最初に委員長挨拶ということなんですけども、このたびの議会の人事によりまして、委員長を務めさせていただくことになりました足田と申します。なかなかこのポジションといいですか、役目は初めてですので、足らぬところがたくさんあると思いますけれども、皆さんのお力添えによりましてスムーズに進行できるよう、よろしくお願いいたします。

まず、防災といいましても、近年、豊岡市は大きな災害に見舞われることがなく、非常にありがたいことだと思います。しかし、全国的に見るとこれまでと違った形の気象状況であったり、災害の起き方、非常に突発的なものも含めて頻発しているところがあります。

国のほうは自助・共助・公助ということで、自助を盛んに頭につけておりますけども、やはり公助の果たすべき役割というのは非常に大きいと私は思っております。100%完璧なものは難しいにしても、少しでも人的災害ですとか、財産の損失ですとか、そういったことは防げるように、やっぱり備えあれば何とかと申しますように、できる限りのことを準備しておくことが大変大事だろうと思います。皆さんの英知と経験と、それを豊岡市のために十分生かしていけたらなと。少しでもお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最初に、但東振興局の大石地域振興課長より、本日の委員会を欠席する旨の申出があり、これを許可しておりますので、ご了承願います。

あと、ちょっと喉の調子がよくないんで、飴ちゃんを舐めながらさせていただいて、滑舌がさらに悪くなりますけど、ご容赦いただきたいと思います。

それでは、協議に入りますまでに、今回は役員改選後、初めての委員会でありますので、ここで出席者の皆さんに自己紹介をいただきたいと思います。

まず、私は今、挨拶しましたので、副委員長、各

委員、それから当局職員、最後に事務局という順序でお願いをいたします。

それでは、副委員長、お願いします。

○委員（土生田仁志） 初めて仕事らしい仕事することになりました土生田と申します。

2番目の仁志君として、よろしくお願いします。

○委員（清水 寛） おはようございます。清です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員（浅田 徹） おはようございます。浅田でございます。よろしくお願いいたします。

○委員（椿野 仁司） 3番目の仁司です。よろしく。

○委員（福田 嗣久） 福田でございます。おはようございます。よろしくお願いいたします。

○委員（奥村 忠俊） 奥村です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（足田 仁司） 当局は、名簿順で。

○防災監（宮田 索） 名簿順ということで、防災監の宮田です。どうぞよろしくお願いいたします。

○防災課長（原田 泰三） 防災課長の原田です。おはようございます。よろしくお願いいたします。

○コウノトリ共生部長（川端 啓介） おはようございます。コウノトリ共生部長の川端と申します。よろしくお願いいたします。

○農林水産課長（柳沢 和男） おはようございます。農林水産課長の柳沢でございます。よろしくお願いいたします。

○農林水産課参事（井垣 敬司） おはようございます。農林水産課参事の井垣と申します。よろしくお願いいたします。

○都市整備部参事（河本 行正） おはようございます。都市整備部参事の河本です。どうぞよろしくお願いいたします。

○建設課長（富森 靖彦） おはようございます。建設課長の富森です。よろしくお願いいたします。

○上下水道部長（米田 眞一） おはようございます。上下水道部長の米田です。よろしくお願いいたします。

○下水道課長（石津 隆） おはようございます。下水道課長の石津です。よろしくお願いいたします。

○下水道課参事（堀田 政司） おはようございます。

下水道課参事の堀田です。どうぞよろしくお願いします。

○城崎振興局長(熊毛 好弘) おはようございます。城崎振興局長の熊毛です。よろしくお願いします。

○城崎振興局地域振興課長(谷垣 一哉) おはようございます。城崎振興局地域振興課長の谷垣と申します。よろしくお願いします。

○竹野振興局長(瀧下 貴也) おはようございます。竹野振興局長の瀧下でございます。よろしくお願いします。

○竹野振興局地域振興課参事(山根 哲也) おはようございます。竹野振興局地域振興課参事の山根と申します。どうぞよろしくお願いします。

○日高振興局長(小谷 士郎) 日高振興局長の小谷士郎といいます。よろしくお願いします。

○日高振興局地域振興課長(中川 光典) 日高振興局地域振興課の中川と申します。どうぞよろしくお願いします。

○出石振興局長(村上 忠夫) 出石振興局長の村上です。どうぞよろしくお願いします。

○出石振興局地域振興課長(今井 謙二) 出石振興局地域振興課長の今井です。よろしくお願いします。

○但東振興局長(羽尻 泰広) おはようございます。但東振興局長の羽尻と申します。よろしくお願いいたします。

○消防長(梶田 貴行) おはようございます。消防本部、消防長の梶田です。よろしくお願いします。

○消防本部参事(金納 広行) おはようございます。消防本部、消防本部参事、金納です。よろしくお願いします。

○消防本部参事(井崎 博之) おはようございます。消防本部参事の井崎と申します。よろしくお願いします。

○事務局主査(伊藤八千代) 失礼します。事務局の伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長(足田 仁司) 次に、協議・報告事項に移ります。

まず、席次の指定についてであります。ご協議をお願いしたいと思います。

正副委員長の席は決まっておりますが、各委員の席について、今お座りいただいている席でよろしいか、意見があれば聞かせをいただきたいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(足田 仁司) 特に意見がないようですので、そのように決定をさせていただきます。

それでは、委員会の所管事項について、別添事務概要について、続いて、を議題といたします。

4月に行われました各委員会での事務概要を本委員会が該当するものを引き継ぎ、その進捗状況を説明していただきたいと思います。

当局から一通りの説明を受けた後、各委員から質疑等をお願いいたします。

なお、現在、常任委員会、特別委員会の会議録を市議会ホームページで公開しております。つきましては、委員の皆さん、当局の皆さんにおかれましては、次の2点についてご留意を願いたいと思います。1つ目は、数字、それから年月日などについて、言い間違いのないよう正確をお願いをしたいと思います。2つ目としまして、個人情報や未確定事項などについて不適切な発言にならないように、慎重を期していただきたいと思います。

それでは、説明をお願いいたします。

政策調整部、原田防災課長。

○防災課長(原田 泰三) 5ページ目、6ページ目でございます。防災行政無線の更新についてです。

現況と課題といたしまして、防災行政無線のデジタル化というのが、アナログ方式による防災行政無線電波の使用期限の関係で、2022年11月末というような期限がございます。豊岡市では2018年度から整備を進めております。2019年度には親局や中継局などの無線設備、それから屋外拡声子局等の整備を終えておまして、2019年の10月1日からデジタルとアナログの併用運用を開始しております。その後、この2020年11月からは市内全域でデジタル防災行政無線のみで運用をしているところでございます。

基本方針でございます。2020年10月末を目

途に全世帯のデジタル戸別受信機交換を終えるというように、それから、市内全域でデジタル電波による運用に移行をするというようにございまして、工期限を2021年2月末としておりました。

続いて、概要と進捗状況につきましてご説明いたします。

2020年度、整備最終年度といたしまして、引き続きのデジタル戸別受信機への交換作業、それからアナログ無線の設備の撤去を行ってきております。残る地域のアナログ・デジタル併用についても、この2020年10月末で運用を終えているというところでございます。

3番目のところの(1)以下の表についてご説明をさせていただきます。

まず、進捗率でございますが、99.4%ということで、10月27日現在デジタル戸別受信機への交換状況について記載をさせていただいております。住基上の世帯数、それからあと住民票を置いていない世帯で防災行政無線の戸別受信機が欲しいというように希望された世帯も含めまして予定としておりますのが3万4,744件で、設置台数は2万7,745台ということで、設置率は79.86%ということになっております。

3行目の設置不要の申出数のところでございますが、施設入所による不在の世帯や1軒のうちで世帯分離をしているような方というようににつきましては無償貸与の対象ではないというようにことで、設置不要数は4,335件というふうにしております。

それから、交換未完了数につきましては3,032件となっております。

6ページ目をご覧ください。交換未完了の世帯への対応ということを記載させていただいております。ここにつきましては大半がアパート等の賃貸物件の入居者というようにことが挙げられておまして、この方々につきましてはの対応につきましては、防災行政無線で繰り返し1日3回とかいうようなレベルで防災行政無線機の交換をお願いしますと

というような周知を図ってきておるほか、ホームページや広報、それから業者さんも何度も何度も行っていただいて、その都度その都度、不在のところには不在票を置かせてもらって、ここに電話してくださいというように丁寧に対応してございまして、いるんですけども、まだまだ相手方からの連絡がないというようにところが多くて、連絡を待っているような状況でございます。

今後も工期末までまだありますので、たくさん交換をしっかりとさせていただくようにホームページや、とよおか防災ネットメールで周知を図ってまいりたいというふうに思っております。

11月27日で全てのアナログ施設の撤去が完了するというような予定になってございます。以上でございます。

○委員長(足田 仁司) 続いて、都市整備部、富森建設課長、お願いします。

○建設課長(富森 靖彦) 建設課からは2件報告をさせていただきます。

まず、7ページをご覧ください。雪害対策事業の推進ということです。現況と課題、基本方針につきましては4月から特に変わっておりませんので割愛させていただきます。概要及び進捗状況を主に報告させていただきます。

今年度につきましては除雪対策ということで、日高地域の13トン級除雪ドーザーの更新を予定しておりました。現在、購入契約済みで、来年3月末には納入予定となっております。なお、この機械につきましては日高地域の神鍋で使用予定ということになっております。

それから、次の消雪施設の更新等ですが、まず、城崎の市道一の湯松崎線外につきましては、現在、工事施工中でありまして、1月中には現場が完成して散水ができる状態になる予定というふうに把握をしております。

それから、次の市道大篠岡駄坂線につきましては、こちらは今月中には散水できる状態になりますので、12月1日からの冬季の除雪期間には間に合うということになっております。

それから、一番下ですが、竹野の市道上町賀島公園線外につきましては、これは散水ノズルのみの交換ですが、既に工事は完了しております。

なお、先日、今年度の除雪計画がまとまりまして、概要について若干報告をさせていただきます。除雪延長につきましては、車道が631.0キロメートルで、歩道が113.9キロメートルで、合計が744.9キロメートルで、除雪車両台数につきましては、今年度につきましては180台、これを94の業者の方で対応をしていただくことになっております。

なお、豊岡市の市の職員の除雪隊員数につきましては、69名体制で除雪を行っていくこととなっております。12月1日には発隊式を行いまして、除雪作業に入ることとなっております。

なお、今回の12月議会におきまして、除雪の委託費につきまして、例年と同じですが、補正にて増額ということで、またお願いをさせていただきますので、ご審議のほうをよろしくお願いしたいと思います。

続きまして、8ページ、9ページをご覧ください。円山川水系河川整備事業の進捗状況についてです。

お手元にA4カラーの横長の2020年度円山川改修事業実施地図（予定を含む）という図面をお配りさせていただきましたので、それを参考にしながら見ていただきたいと思います。

まず、現在の河川整備事業につきましては、平成25年に策定されております円山川河川整備計画に基づいて実施されております。

概要及び進捗状況ですが、まず最初の瀬戸・津居山地区、これはちょっと図面には記載されておりますが、円山川の一番下流部になります。こちらの無堤防地区の解消ということで、現在も整備案のほうを国交省のほうで検討されているというふうに聞いております。

それから、次のひのそ他地区です。これにつきましてはちょうど奈佐小橋から城崎の結和橋の上流までの区間につきましては、平成16年台風23号水位の高さまでパラペットが既に完成してござい

ます。図面の一番左に来日橋右岸下部工事など何件か工事がありますが、その部分ですが、現在は県道の来日橋の架け替え工事が進められておりまして、左右兩岸の橋台が施工されております。左岸側につきましては、既にくい打ちが完了しておりまして、この後、上部工の工事の発注が予定されているというふうにお聞きしております。

それから、次の鶴岡・日置地区です。ちょうど図面でいきますと、右側の下のほうに向日置橋というのがありますが、その辺りになります。ここでは日置地区では堤防工事が進められるとともに、先ほども言いました向日置橋、これは市道になりますが、これの架け替え、堤防により支障となりますので、架け替えの整備工事が今後、発注の予定があります。

それから、鶴岡地区につきましては、引き続き用地の未買収箇所がありますので、用地買収の交渉が行われているというふうにお聞きをしております。

それから、日高地区につきましては、一番先ほどの向日置橋の下の部分になりますが、こちらにつきましても築堤工事が継続して順調に行われているというふうにお聞きをしております。

それから、次の中郷の遊水地の整備です。ちょうど図面の真ん中の辺りに中郷遊水地整備工事ということで、4件ほどありますが、この部分になります。上池、下池ということで、2つ池がありますが、下池につきましては既に工事が着手されておりまして、今年度につきましては現在、掘削、それから一部その築堤工事についても進められているところです。上池につきましても、現在、用地買収が継続的に進められておるというふうにお聞きをしております。

それから、最後になりますが、堤防強化ということで、これにつきましては、防災・減災国土強靱化3か年緊急対策ということで実施されております。具体的には河川堤防の裏側、民地側になりますが、裏側ののり尻にブロック等で補強する工法です。これにつきましては、現在、出石川や円山川の右岸で工事が行われております。

なお、本事業につきましては、先ほどの緊急3か

年事業ということで、今年度が最終年度となりました。予定箇所全てが完成予定というふうに聞いております。

それから、要望活動ですが、今年度につきましては新型コロナウイルス感染症の影響もありまして、従来ですと近畿直轄河川治水期成同盟会連合会での要望に参加をしておりますが、国土交通省、財務省への要望書送付に代えられたというふうにお聞きをしております。

続きまして、その他ということで、ちょっと挙げさせていただいております。円山川流域治水協議会についてです。これにつきましては、国土交通省のほうより近年、毎年のように全国各地で頻発する自然災害に対応するために、全国一級河川において河川管理者だけでなく、あらゆる関係者による流域治水へと転換していく方針が示されております。これを受けまして、円山川水系におきましても円山川流域治水協議会を立ち上げまして、流域全体でおおむね5年から10年の間に緊急的に実施する事業を取りまとめた流域治水プロジェクトを策定、公表し、計画的に推進することとなっております。

協議会のメンバーにつきましては、豊岡市長、養父市長、朝来市長、それから兵庫県の県土整備部総合治水課長、それから国土交通省の豊岡河川国道事務所長で構成されまして、これまでウェブ、あるいは書面などで2回の会議が開催されております。

今後ですが、来年3月には最終的な円山川流域治水プロジェクトということで、まとめられて公表されることとなっております。

次に、事務概要には記載させていただいておりますが、防災の委員会ということで、内水対策について若干触れさせていただきます。お手元に配らせていただきました2枚目の図面です。盛土工平面図という図面ですが、これにつきましては、山田川流域の内水対策事業ということで、すみません、先ほどの2枚目のこの赤い図面です。これにつきましては、山田川流域の内水対策事業ということで、福田地内から下陰地内にかけての奈佐川の右岸の山田川の流域について、内水氾濫による浸水被害を軽減

するために排水ポンプを設置する事業です。

今年度の工事ということで、お手元に配付させていただきました図面ということでご説明させていただきます。ちょうど赤で着色させていただいております部分について、ポンプの設置箇所、それからポンプの操作室に当たる部分になります。こちらについて、今年度盛土を行っております。この盛土についてですが、当事業箇所につきましては、地盤が軟弱であるということで、正規の計画高さまで盛土することによって、将来にわたり長期間の地盤沈下が生じるということがありますので、そこで今回の工事では、計画高さより倍の高さまで盛土を行いまして、将来に発生する沈下をできるだけ早く進めて、将来に多くの沈下が残らないような格好で対応することです。盛土をさせていただいております。

今回、盛土をいたしまして、1年間この状態で放置をいたしまして、1年後には現在の盛土を正規の盛土の高さまで上の部分を取ってしまいまして、その後、ポンプであったり、排水、操作室の建屋であったりというものを整備していく予定としております。

なお、この福田排水機場の事業につきましても12月議会におきまして、緊急自然災害防止対策事業債という有利な起債での事業が可能となっておりますので、補正予算の提案をさせていただきますので、ご審議のほうをよろしくをお願いをしたいと思います。

建設課からは以上です。

○委員長（足田 仁司） 続いて、上下水道部、石津下水道課長、お願いします。

○下水道課長（石津 隆） 下水道事業の事務概要についてご説明いたします。10ページの雨水整備事業でございます。

現況と課題ですが、雨水整備は、雨水幹線39.4キロメートルの計画に対し約15キロの整備を終え、現在、整備率は38%となっています。今後もさらに水に強いまちづくりに向けた取組を推進してまいります。また、今後の雨水計画は総合治水の観点、「ながす、ためる、そなえる」を総合的に

判断し、計画の見直しを図る必要があると考えております。

2020年度の事業概要及び進捗状況です。11ページに下水道課説明資料としまして、2020年度雨水整備事業の位置図を添付しておりますので、参考にご覧いただければと思います。

1つ目の福田排水区です。こちらは山田川流域内水対策事業に併せて雨水幹線の整備を行うものです。2018年度に用地測量、詳細設計業務を完了し、昨年は地元地区や農会と施工時期や工事用通路の使用承諾などの調整をしてまいりました。本年度、2020年度からは水路工事に着手し、約3か年で総延長約1,000メートルの整備を完了する予定としております。2020年度は下流側の約130メートル区間を工事する予定としております。進捗率は今月、11月の発注予定となっております。

次に、2つ目の三江排水区でございます。こちらは豊岡市市街地東部の三江排水区における浸水対策事業として、三江四号雨水幹線の未整備部分の整備を行うものです。昨年までに境界確定、詳細設計、用地買収が整いましたので、本年度は水路整備工事約174メートルを施工するものです。進捗率は、現在、入札は終えておりますが、工事着手準備中ということで、約5%となっております。

下水道課からの説明は以上でございます。

○委員長（足田 仁司） 説明は終わりました。

質問はありませんか。

椿野委員。

○委員（椿野 仁司） いいですか。先ほどの盛土工のことなんだけど、図面を見ておって、ちょっとよく理解ができないんで教えてほしいんですけど、要はこれは奈佐川があって、福田第一樋門があって、山田川があって、これ、右側は山陰酒類、山陰酒販のこと、これ。山陰酒類食品って言って、あそこの山陰酒販のことですか。それとも、こっち側は今の東豊精工のあるほう。ああ、ということか。大体ぼやっと分かってきた。

それで、何が聞きたいかっていうと、奈佐川が本線ですよ。それで、山田川はその横にあるわけだ

けど、今、福田第一樋門がここにあって、要するに奈佐川から逆流を防ぐっていうか、その防ぐためにはここをフラップゲートになっているのかな、これ。これ、ゲート、樋門は、フラップじゃなくて閉めるの。

○下水道課長（石津 隆） はい。

○委員（椿野 仁司） 増水して逆流したらいけないので。それで、閉めると、今度は山田川の水がそこにたまってしまふから、それをこの今の排水機場を造成することによってどういうふう、水をどんな形で逃がしていくわけですか。ちょっと今の説明、僕の言ってること、よく分かりますね。ちょっと具体的にどうなんだっていうところは、うん。

それから、金額のこと言わなかったけど、今はいわゆるそういった補助金なり何かそういうものがあるから有利なことがあって、起債を受けられるということだったんだけど、一体どれぐらいの規模の、どれぐらいの今、12月で出すんだろうけども、どういうぐらいの内容のものなのか、もう少し詳しく教えてもらえませんか。

○委員長（足田 仁司） 富森建設課長。

○建設課長（富森 靖彦） すみません、ちょっと説明が不十分で申し訳ありませんが、先ほど椿野委員がおっしゃいましたように、奈佐川の水位が増えたら当然、福田第一樋門が閉まりますので、この山田川流域、ずっと上流から流れてきたこの水がはけませんので、ここに今、赤で着色している部分にポンプを据えまして、ポンプで吸った水を堤防の上に管をはわせまして、乗り越し管をはわせまして、奈佐川のほうに吐くような格好で内水を奈佐川に吐くという計画で今、進めております。

○委員長（足田 仁司） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 豊岡には今までこういうのはないね。ありましたか。

○建設課長（富森 靖彦） 豊岡では同じようなものといえば、円山川右岸側に下鶴井と宮島に国交省が仮設で造られたんですけど、最終的には豊岡市のほうでいただいています、そのようなポンプと、それと同じような形になります。

○委員長（足田 仁司） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） それなら、いわゆる昔でいうとパーティカルポンプみたいな感じのが向こうだと、今はこれは完全にもうこういうものを布設するわけだけど、これで大体、細かいこと聞いて悪いけど、どれぐらいの能力があるの。毎秒何トンとかの排水量が。

○委員長（足田 仁司） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 今、計画では毎秒3.1トンです。1.55トン掛ける2台。

○委員（椿野 仁司） 1.5掛ける2台。

○建設課長（富森 靖彦） 1.55掛ける2台で3.1トンの計画です。

○委員長（足田 仁司） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 最後に。詳しくはまたいろいろと聞きたいこともあるんだけど、結局これによって、この下陰地区がどれぐらいの今までこの流域で冠水を余儀なくされておったんかなというところ辺がちょっと分からないんだけど、どれぐらいの範囲で、このいわゆる山田川からの内水がどれぐらい下陰の範囲の中で、どれだけの冠水をされておったんですか。

○委員長（足田 仁司） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 下陰につきましては、平成30年の7月豪雨でもこの辺り、床上浸水とかがあったりということがあったんですが、今回このポンプをつけることによって、完全にその道路を、完全にその浸水を全くなくすというわけではなくて、いわゆる5年確率の雨ぐらいで、道路面で通常車が通れる20センチぐらいの深さまでに抑えようという計画でさせていただいています。当然、山田川流域ということですので、下陰もですし、上流の福田のほう側も若干、そこらも含めて全体で少しでも浸水を軽減しようというような計画になっております。

○委員（椿野 仁司） 分かりました。

○委員長（足田 仁司） ほか、ございませんか。
浅田委員。

○委員（浅田 徹） 1つ、多分これ、図面修正を

せんなんのかなと思いますのは、この円山改修事業の実施位置図、見てましたら、当然これ、それぞれの事業が打ってあります矢印の修正せんなんところっていうのが、ちょうど真ん中の一番上のところに、円山川堤防強化事業という3本の矢印がこれ打つとるんですけど、一番右の矢印がこれ、出石川にかかってまして、出石川のちょうどこれ、鳥居の辺だと思いますけども、これは出石川で、その出石川の左岸堤防、右のちょうど杵からいったら3つ目の上、出石川左岸堤防工事、これも2本矢印が出ておるんですけども、下の矢印については、これはもう円山川の、これは中郷堤防かなと思っておるんですけどね、これちょっとまず修正じゃないかなと思って、どうでしょうか。

○委員長（足田 仁司） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） これにつきましては、国のほうにも確認をさせていただいたんですけども、工事名称で、発注工事ごとに記載されてますので、ちょっと矛盾する部分があるかも分かりませんが、円山川の堤防強化ということで、この部分も入っているということで、ちょっとあの・・・。

○委員（浅田 徹） そういうか、ちょっと矛盾しますね。

○建設課長（富森 靖彦） ちょっと矛盾しますが、はい。ご理解願いたいです。

○委員（浅田 徹） そういうことですね。一緒に抱き合わせで、そこでやると。

○建設課長（富森 靖彦） そうです、はい。そうされているということです。

○委員（浅田 徹） 工事費の大きいほうをどちらかにということですか。

○建設課長（富森 靖彦） はい、そういうふうに聞いております。

○委員（浅田 徹） なら了解しました。

○委員長（足田 仁司） 浅田委員。

○委員（浅田 徹） それと、じゃあ、質問です。
僕は特に建設課さんの円山川流域治水協議会、これは豊岡にとって、今は特に最近、流域災害治水ということが非常に大きな問題になっています。豊岡は

当然、上流域の本当に朝来、養父市の水で豊岡は氾濫を余儀なくされているということで、この流域治水にしっかりとした、これからなんですけども、やはりプロジェクトの中で、一番被害を受ける豊岡ですから、以前いろいろと質問したことあるんですけども、市長は、いやいや、こんなもん、末端の豊岡のことなんか、上流の市が考えてくれることはない。やっぱりこれは全然そういう治水的なことに対して市もかなり僕はハード面では消極的だというふうな捉まえ方をやっていますので、やっぱりしっかりと今後の命だけじゃなくて、せっかくできたチャンスですので、よろしくこれはお願いしたい。私なりにはこれも勉強したいなと思ってますけれども、その辺の心構えだけちょっと今日は聞かせてもらったらと思います。

○委員長（足田 仁司） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 浅田委員言われますように、この流域治水プロジェクトということで、例えば河川管理者だけであるとか、その他の民間の方も含めてということで、今回のこのプロジェクトにつきましては、全ての関係者、当然国、県、それから流域の自治体、そこが協力し合って円山川なら円山川の治水対策をしていこうということで、今までばらばらにやっていたものを一つにまとめるだけで効果が上がるようにということで、連携して取り組むということですので、我々としても豊岡は一番下流ですので、しっかりと上流でもどういこうことをされるのかということも含め、意見も言っていきながら取り組んでいきたいなというふうに考えております。以上です。

○委員長（足田 仁司） 浅田委員。

○委員（浅田 徹） よろしくお願ひします。

もう1点は、これも先ほど椿野委員から出ました、非常に福田排水機のポンプ場を造成にかかれるというふうなことで、沈下を見越して倍の盛土をされると。今回、図面で見せていただいたのは、特にポンプの本体が据わる、そういう建築物等が来る場所かなと思っております。ところが、実際は周辺のこの三角の、つまり、道路と道路と、言わば右岸堤

防に囲まれたこの三角地は全部これがポンプ用地になるということですね。ご承知だと思いますけども、ここの隣には山陰酒販の倉庫等があります。ここは非常にご承知のとおり、豊岡の中でも一番軟弱な、とんでもないもう、田んぼを埋めたら、隣の田んぼが浮き上がるぐらいな、非常に変異の激しい、つまり、それだけ飽和状態、水がたくさんじゃぶじゃぶの地層になります。

ですから、気づけてされんと、やはり道路が傾くとか、周辺施設を沈下させるとか、逆に言ったら、その隣を隆起させるとか、非常にこれ、問題がある場所ですので、十分その注視しながら、動態観測とは言いませんけども、そうしないとまた交渉問題で、沈下に対する、建物にクラックが入ったとか、十分予想されます。ここはこの遊水地は、市が区画整理をして、住宅地で販売したところですけども、水路そのものの1メートルぐらいもう即時沈下で、造ったものが沈下してしまうというような、非常に市としても、逆に言えば大変な場所を、そういう経験もしていますので、特に沈下対策、もちろん建物をとにかくしっかりと支持摩擦ぐいは打たれるでしょうけども、盛土に対しても十分、知見取って、対策をお願いしておきます。これはお願いです。以上です。

○委員長（足田 仁司） そのほかございませんか。
椿野委員。

○委員（椿野 仁司） ちょっといいですか。まあまあ、この円山川改修事業の実施、位置図の中もそうなんだけど、この8ページにある無堤防地区の解消というところで、瀬戸・津居山地区がまだ全然具体的に示されていないんだけど、一体、言えることと言えないことがあるなら、それはまあ、いいんだろうけども、今まで津居山も含めてA案、B案という、いろいろあったと思うんだけど、その一体全体、これ遅れてるっていうか、前に進まないのは、理由は一体何なんですか。地元が合意されないっていうことですか。それとも、まだまだその、国交省も含めてそういった提案はされとると思うんだけど、前に一つも進まないんだけど、これはどういうこと。

○委員長（足田 仁司） 河本都市整備部長。

○委員（椿野 仁司） あっ、止めたほうがいいんだ
ったら、止めてもらったら、委員長に。

○委員長（足田 仁司） 暫時休憩します。

午前 10 時 24 分休憩

午前 10 時 29 分再開

○委員長（足田 仁司） では、委員会を再開します。

そのほか質問ございませんか。

福田委員。

○委員（福田 嗣久） よろしいか。1 つだけですけれども、建設課の雪害対策の推進の件で、消雪装置の老朽化という話がここに記載されてるんですけれども、一つ、中山の消雪装置が非常に老朽化しているということを考えておまして、10 日ほど前かな、修繕をされておりましたんですけれども、あそこの消雪は雪が降ると役に立たんようになってくるという消雪なので、ちょうど業者が 5 か所ぐらい掘ってましたんで、どうしたんだいうたら、もう劣化して腐食が非常に進んで、掘り直して管を入れ替えてるんだというお話だったんですけれども、あそこの地域は家屋が連たんした、1 キロ、1.5 キロぐらい連たんした場所で、特に冬季のことを考えると、消防水利の取りにくいところやし、あるいはまた救急も入りにくいところになってきますし、この辺はやっぱり根本的に考えなんの違うかなというふうに思ってるんです。

ですから、消防、救急、全てが例えば雪の夜、夜中とかになると、消防車も入れん、救急車も入れへんと思うかなという気もするところなんで、一遍根本的に考えなんのじゃないかなと。それで、僕が今申し上げた、雪が降ると役に立たんというのは、地元の人がよく理解されてますので、その辺をどんな考えておられますか。課長でも参事でもよろしいので。

○委員長（足田 仁司） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 中山の消雪につきましては、先ほど福田委員さん言われましたように、現在、修理をさせていただいてます。

豊岡市消雪施設といいますと約 40 キロ弱あるんですけど、当然、老朽化だとか劣化の程度によって、その更新であるとか、まだ程度が低ければ部分的に補修ということもさせていただいてるんですけど、中山についてもその部分的な補修ということで、ちょっと今回させていただいております。その辺りの状況を見させていただきまして、当然、先ほど言いましたように、程度によれば何年か後にはまた更新ということも可能性としてはないかも分かりませんが、ちょっと様子を見ていただけたらなというふうに考えておりますので、よろしくお願いします。

○委員長（足田 仁司） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） 可能性がないわけではないというふうに聞かされたんですけども、とにかく雪が降ると役に立たなくなるような装置で、どうだろう、豊岡では一番悪いんじゃないかなという気もするんですけれども、理由がどこにあるか、大体分かるような分らんようなところもあるんですけれども、基本的に消雪装置自体もあれ、45 年ぐらいたってるんじゃないかな思うんですけれども、違いますか。45 年ぐらいたってるん違うかなと思うんですけれども。

○委員長（足田 仁司） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） ちょっと年数までは分かりませんが、あそこはもともと多分、県道か国道だったと思うんですそれをもらった、頂いた施設だと思います。ちょっと年数については分かりません。申し訳ありません。

○委員長（足田 仁司） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） それで、最後になりますけれども、小学生の通学路で、幅員の狭いところですので、非常に難儀する場所でもあるし、心配をする場所でもありますし、それと今、申し上げたように、雪がどんと降った場合、進入が非常にしにくいということは間違いない。特に高齢者が多い地域ですから、救急搬送でも大変だろうなという気がするんですけれども、そこらをよく判断をされて、対応もしっかり取っていただきたいなということをやっぱ

り地元の非常に切なる願いだと思いますので、私も大雪になったときはやかましく言うんですけども、実態としては本当に県道側から入りにくくなってしまうので、中山の地内というのがね。そこからまた枝、支線が結構ありますので、夜間2時とか3時、雪が降ったときには本当に大変だろうなということと、その消防の水利のことからいっても大変だろうなという気がするんで、しっかり考えていただいて、対応していただきたいということをまず、これはお願いをしておきます。

以上、よろしいですかね。

○委員長（足田 仁司） 河本参事。

○都市整備部参事（河本 行正） 消雪につきまして、現在市内にあるのが県道、あるいは国道からの市道に受けたということに伴ってっていうのがほとんどで、かなりまたそれも老朽化が市内中、目立っております。一生懸命ですけども、そこは日々の生活がかかってますので、できる限り維持していこうということで、やりくりしながら進めておりますので、それはきっちりと完璧なことはできませんけれども、繕いながらも冬季のこの道路交通は守っていきたいというふうに、我々も必死に思っておりますので、ご理解をいただきまして、適正に、また見ましたら、現地を確認しまして、また予算等で上げていって維持していくというふうに、そういう方針でおりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員（福田 嗣久） よろしくお願ひします。

○委員長（足田 仁司） そのほか。

清水委員。

○委員（清水 寛） すみません、1点だけお聞きしたいんですけども、但馬空港インターが開通しまして、それで最近ちょっとあの辺を意識して通るようにしてるんですけども、今日も通ってきたんですけども、非常に大きな車が割とU F Oのほう側に、ずっとあのカーブを通っていかれるんです。

ただ、その空港インターを出てからのところがずっと下り坂が、反対からちょっと上り坂なんですけども、そういう意味ではああいう大きな車が通っていく中で、なかなかいわゆるスリップとか、雪害の

状況、凍ててくる場合っていうので、信号がある場所はフラットではあるんですけども、空港から下りてくる側っていうのは当然、下り坂ですし、その辺でやはりこれから事故が起きたりとかっていうことがちょっと想定されるのかなというふうに思うんですけども、その点についていかがでしょうか。

○委員長（足田 仁司） 河本参事。

○都市整備部参事（河本 行正） 一応、今回の空港線にインターのタッチということで、冬季のそういったことも考えた勾配で道のほうは造り直されております。ですので、交差点については車が止まるところが大体おおむね2.5%というような勾配以内で設置することになっておりまして、それプラス坂道につきましては、道路構造令でも積雪、寒冷地については6%以内ということで、それで設計されて、坂を造り直しておられますので、基本的には冬季に対応した道というふうには考えて、我々はそういうふうに思っ受けて止めております。

今後、この先そういった事象でっていうことで、何か取れることがありましたら、それはまた県のほうにもお願いしたりとか、国のほうにもお願いしたりとかいうふうには考えますけども、今のところはその道路の構造令上の法規的なものについては冬季の交通を考えた設計にはなされているというふうには思っております。以上です。

○委員長（足田 仁司） 清水委員。

○委員（清水 寛） できたばかりで、この先どういう形になるのかっていうのはなかなか分かりにくいのかなとは思いますが、やはり大型のトラックがかなり荷物積んでる場合、坂道ではちょっとでも凍ててたら割とスリップして立ち往生っていうのは市内でもちょくちょく見ることがありますし、そういう意味では非常に大きな動脈になってくる場所でトラブルになると、あの道は、全く抜け道が多分ない状態になってくるのかなと。そういう意味では、インターの端まで来て大渋滞というようなことが起き得るかなと思うんで、その辺、十分に注意していただきながら、何らかの対策を先に、何かこういうことになったときにはこういうことが

できるんじゃないのかっていうのも考えていただいて、状況を見ていただけたらと思います。意見として、はい、以上です。

○委員長（足田 仁司） そのほか質問等。

椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 一つ聞き忘れてました。いいですか。無堤地区の中で、もう一つちょっと聞き忘れとったんだけど、左岸の今の築堤がある中で、来日のあの今の結和橋がある辺は、今、工事をされて、すごい時間かかっているの分かるんだけど、あの先の甲浦っていう、我々が称してる今津川、今津の川のところのあの辺りが全く手つかずなんだけど、あれは今、進捗状況っていうのはどういう状況になって、あれは手つかずなのかっていうところ辺、前は聞いたことあって、理由はいろいろあったんだけど、その後、何にもあそこだけは、矢板を打ったままだよ、基本的には。今津川は分かる。あそこは、またこれ休憩挟まないと行けない話。じゃあ、また休憩を挟んで、聞いてほしいってことですか。うそですか。ほんなら休憩取ってください。

○委員長（足田 仁司） 暫時休憩します。

午前10時30分休憩

午前10時32分再開

○委員長（足田 仁司） 委員会を再開します。

そのほか質問等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（足田 仁司） ないようですので、以上で委員会所管事項の事務概要については終わります。

それでは、当局職員の皆さんは退席していただいて結構です。ご苦労さまでした。

それでは、（3）、まず、休憩なしでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

（3）、次に、委員会の運営方針についてを協議します。

本委員会の調査範囲は相当に広く、委員会としては調査内容を絞り、より効果的、効率的な成果を上げるため、重点調査事項を決めて、それに沿って進めていきたいと考えています。

参考までに、別紙1として、当委員会の設置要綱、また別紙2として、本年10月までの重点調査事項を配付しておりますが、改めて今期の委員会重点調査事項について、協議をお願いいたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局主査（伊藤八千代） 失礼します。本年10月までの重点調査項目を別紙2のほうにつけております。ご覧ください。2020年度前期防災対策調査特別委員会の重点項目としまして、9点ございます。1番から9番までということで、前期のほうで決めておりますが、2020年度の後期重点項目について、この前期項目を引き継いで取り組んでいくか、また新しい項目を新たに加えていくかななどを、本日この場でご協議いただきたいと思います。

参考までに、別紙、防災対策調査特別委員会資料、A4の1枚物としまして、委員会の開催経過のほうをつけております。

簡単ですが、以上、よろしくお願いいたします。

○委員長（足田 仁司） それでは、この件についてご意見等がありますでしょうか。特にございませんか。

○委員（福田 嗣久） はい。網羅されてるように思いますが。BCP、内水、河川・土砂、地震・津波、高潮、原子力、雪害、自主防災、防災意識の向上。

○委員長（足田 仁司） ちなみに、コロナ関連は1番の項目と、それから8番ですかね、避難所の運営等が絡んでくる、そういったところにコロナ関連の対策は網羅されてるようです。

それでは、特に意見等はないようです。

奥村委員。

○委員（奥村 忠俊） 1年間あるんですけども、できるだけ現地視察といいますかね、そういったものがあると非常によく分かるんですけども、今、先ほど椿野委員が言われたのも分かっておるような感じなんですけども、なかなか複雑なことになっているところまでは分からなんだ。後で聞いてなるほどと思ったようなこともあるんですけども。できるだけ現地を見させていただくことが大

事ではないかと思いますので。

○委員(福田 嗣久) 3月にも行っとななるへんか。

○委員(奥村 忠俊) 去年だろ。

○委員(福田 嗣久) 今年の。前期の委員さんですけどね。

○事務局主査(伊藤八千代) 参考までになんですけども、この後、12月の今度、次回の委員会の調査事項を確認していただきたいんですけど、2年前は12月に管内視察のほうにたしか行っておりまして、今、奥村委員がおっしゃるように、次回に管内視察っていうことも可能だと思います。

○委員(椿野 仁司) 今、奥村さんが言われたことで、どちらにしてもコロナの関係で、管外がなかなか行きにくいのではないかなと。これは別に防災だけに限ったわけじゃなくて、常任も特別委員会も、管外視察は難しいと思いますよね。

そうすると、そうすると管内視察を増やしたほうがいいのではないのかなということになると、いろんなところを見に行き、やっぱりいろんな、見に行くだけでなく、現場の声を聞いたほうがいいですよ。だから、僕らも津居山と瀬戸のも、結局、当局ばかりにああやって対応をしてもらってるんだけど、我々もやっぱり聞いて、見聞きしないとあかんのではないかなと思いました。

○委員長(足田 仁司) そのほか意見等ありましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(足田 仁司) それで、次回の委員会でどのように取り組んでいくか、まずはそれについて、先ほどからこのコロナ禍にあって管外は難しいので、管内の現地視察等に取り組んではどうかというようなご意見だったと思いますが、具体的にはどういうふうにさせていただきますでしょうか。

○委員(椿野 仁司) 具体的にはいろいろと治水だとか色々あると思います。

○委員長(足田 仁司) このA4、1枚の用紙を見ると、今年の3月には5か所の視察を実施されています。

○委員(椿野 仁司) 防災、続けて入っとななる人、

誰ですのん、ほんなら。

○事務局主査(伊藤八千代) 奥村委員ですね。

○委員(椿野 仁司) ああ、奥村先生、あつ、そう。

○委員(奥村 忠俊) いや、私もずっと見ると、ここで大体地形が分からないところが出てくると、やっぱり見てくると、非常に具体的によく分かるんですわ。そりゃ今日もいっぱい出てるし、指摘されてる事項がいっぱいあるんで、管内ならまだ行きやすいわけで、ぜひそういう形で、何度も計画してくれたらありがたいですけどね。

○委員長(足田 仁司) 今、奥村委員からのご意見ですけれども、仮に現地視察ということを取り組むとすれば、どういったところ。

○委員(椿野 仁司) そこを次の委員会で上げましょう。今上げますか。

○委員長(足田 仁司) いやいや、ですから、12月の委員会で何を、どういった協議を進めるかということですので、12月の委員会で年を越してでも、その現地視察をいついつ行うとか、そういった相談をさせていただくということも可能かと思いますので。

○委員(椿野 仁司) まず、委員長ね、委員長、副委員長でもお考え、事務局でもお考えになれるのもいいですし、委員でそれぞれの地域も含めていくと、今こういうところで防災で非常に気になっているところがあるっていうところも含めていって、そういうのを一回ちょっとリクエストしたらどうですか。

○委員長(足田 仁司) そうですね。今、椿野委員からありました。

○事務局主査(伊藤八千代) すみません、ちょっと、じゃあ事務局案としまして、次回の委員会では管内視察をするという前提でよろしいでしょうかという確認が1点と、もしそうすると、また午前中開催の、午後から予算決算委員会があるというパターンになりますので、午前中、9時ぐらいから出発して、こちらのほうに11時30分ぐらいに帰ってくるというパターンになるかと思います。

○委員(福田 嗣久) 次回のスケジュールは。

○事務局主査（伊藤八千代） 12月の

○委員（福田 嗣久） 12月のスケジュールはどうだ。

○委員（椿野 仁司） そんな、その日にどないしても委員会を考えなくても、視察考えなくたっていいんじゃないの。

○事務局主査（伊藤八千代） また別日に、椿野委員がおっしゃるように、別日に、委員会じゃない別日に、防災で管内視察の日っていうのをつくって、例えば1日回るぐらいの想定をするっていうのも一つの案かなというふうに思います。

○委員（福田 嗣久） 今おっしゃってるのは21日。

○委員（椿野 仁司） そうそうそうそう。

○事務局主査（伊藤八千代） はい、そうです。

○委員（椿野 仁司） 予算決算委員会もあるしね。

○委員長（足田 仁司） 次の12月の委員会では、先ほどから椿野委員からも出てましたように、それぞれの地域の気になる部分とか、ここはぜひ見ておいてほしいとかいうような候補を持ち寄っていただいて、その中でどこどこを視察しようというふうに候補地を、それを相談させていただくという、そういう委員会ではどうかと。提案です。

福田委員。

○委員（福田 嗣久） ええと思います。

まず、よろしいか。当面、行事が少ないと思うので、基本的には行事が少ないので、別日で設定をして、協議をして、まず協議をして、どこへ行こうかということなんですけども。

○委員（椿野 仁司） フリーでいろんなところへ行っ
て、いろんなものを見てきたらええと思います。

○委員（福田 嗣久） それでええと思います。

○委員（奥村 忠俊） 去年も委員会でもかなり回らせてもらって、上田委員長でしたけど、円山川、城崎のほう、それから今、椿野君がさっき言った合流していくところの改修ね。

○委員（椿野 仁司） やっぱり津居山、瀬戸が気になっとるんですわ、本当に。

○委員（奥村 忠俊） そうですね、見るとやっぱり
よう分かりますわ。

○委員長（足田 仁司） 今出ているご意見ですと、
次回の委員会では、さらにその次、いつかはまだ決
まりませんが、日にちを設定するなりして視察
箇所を、それぞれの委員の視点でここがいいんじ
ゃないかというような候補を持ち寄っていただ
くというような内容にさせていただいてよろし
いでしょうか。

○委員（浅田 徹） でも、まずは事務内容を今日
説明があつて、奥村委員が言われたように、やっ
ぱり防災は現場ですので、ペーパーで何ぼこ
う地図にされても、地形、周辺、その状況、や
っぱり目視しないと全然分かりませんので、現
場周辺を理解していかないと、この委員会、駄
目だと思いますので、事務局は大変ですけども、
まず、12月はここの今日出たようなものを、喫
緊の課題、事業、今やることにまず理解をして、
さらにそれプラスアルファいうことで、各委員
会、議会ごとに、現場主義というふうなことの
中で、やっぱりそしたら行かないと駄目だと思
いますよ。

○委員長（足田 仁司） 今、浅田委員からもご
指摘のありましたように、次回は先ほど申しまし
た、その視察先としてそれぞれの委員が候補地
なり、箇所を持ち寄って調整をさせていただく
ということをメインにできたらと思いますので、
そのように進めさせていただいてよろしいでし
ょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（足田 仁司） ありがとうございます。

○委員（椿野 仁司） ちょっと一つだけ付け加
えてね、この3番の土砂災害対策って書いてあ
るんだけど、建設経済で昨日会ったときに、こ
こに委員長おられるんだけど、山本くんが住
宅のほうの関係で。

○委員（福田 嗣久） レッドゾーンの。

○委員（椿野 仁司） レッドゾーン。それで、
レッドゾーンが、結局予算は組んでるんですけ
どね、ゼロなんですよ、予算執行ができてない
んです。なぜかという、申出がないんですよ。

○委員（福田 嗣久） そう言ってましたね。

○委員（椿野 仁司） うん。というのは、一番の問

題は、補助金とか助成金が安いっていうか少ないんで、それは城崎でも旅館、ホテルのところであるんだけど、例えば一番大きいところだったら招月庭なんかは、あの山はどないして直せって言われても、300万円までだけ。そんなもんで直るはずがあれへんですわ。だけど、レッドゾーンって言って、例えば住宅もそうだし、急傾斜地もそうだろうけども、いろいろなところへ行くと、そういうレッドゾーンに指定をされても、要は結局、個人負担も生じるから、それちょっとできませんっていうところは申し込んでこない。

○委員（奥村 忠俊） なるほど。

○委員（福田 嗣久） 個人負担が多いから。

○委員（椿野 仁司） 多いから。だから、結局今の建設のほうで昨日も報告受けたら、ゼロなんです。予算は取っておっても、結局執行はできないという状況なんです。だから、これもうちょっと土砂災害も含めていくと、その辺もレッドゾーンも視野に入れておかないといけないのかなというふうに思いましたけどね。本当に危険なところはね。

○委員（奥村 忠俊） 今、椿野委員が言われたのはなかなか大事だと思いますわ。手がつけられないということで放置されてる所があって、そしていつ事故が起こるか分からない、災害がというところは結構あるんですね、あれ、どの町にも。今言われた城崎でも狭いところに。

○委員（椿野 仁司） そうなんです。

○委員（奥村 忠俊） しかも山の高いところにあるしね。

○委員（椿野 仁司） そう。いきなりレッドゾーンの指定を受けるわけです。でも、持ち主も分かってないんですよ、正直なところ。

○委員（福田 嗣久） いや、持ち主は分かっていると。思うよ。

○委員（椿野 仁司） いや、後で分かったの、それは。でも、分かっていると分かってないところがある。

○委員（浅田 徹） あのね、やっぱりそれ、財産権というんか、例えばその神武山見えてますね。豊校

から全部あれ、レッドゾーンですよ。ところが、こんなところ指定してしまったら、多分、一等地頼みから、地価下げちゃうからということが一つあります。

それで、村部へ行ったら、いや、まあ私の代で終わりですわと逃げます。それと、やっぱりこのレッドゾーンの指定で、急傾斜等の治山の事業が進むというのがあるんです。人家連たん、もちろん今は急傾斜なんかは地元負担になりますけど。だから、個々でね、今、椿野委員が言われたように、そういう旅館業、ホテルになってるわけですけども、そこはもう本当に山を、崖地のところまで竹野なんかはあったわけです。いっぺん、私のときも視察行ったんですけど、あまり土地所有者に刺激を与えないようにやっていかないと、こんな悪いところに住んどってどうやみたいなことを、わしの土地に土足で入らないということで、車止めるところまでちょっとしたようなことがありました。

それで、非常にこれ、命にも関わることですけど、言われたように、個人の財産で、個人が裏山を削って、そこにもう建ててあるような建物がよくあるんです、特に村部に行きましたら。まあまあ、その兼ね合いがあつてね、なかなか難しいです。

ただ、その指定しないと、治山とか急傾斜事業は進みませんので、指定をしていくことが大事なんです。これは注視していかなあかんと思う。

○委員長（足田 仁司） そうですね。

○委員（椿野 仁司） だから防災の扱いの範囲内なのかどうか、その辺がちょっと私には分かんんです。建設の関係もあるので、ちょっとその辺はね。すみ分けをどうするかっていうところ辺、でも、土砂災害って書いてあるから。

○委員（福田 嗣久） 広い意味ですよ、それは。

○委員（浅田 徹） いや、もう土砂災害も大事なことです。やっぱり内水、治水これも治山もです。でね。もう山災害。

○委員（椿野 仁司） ちょっと連携をまた考えてみましょう。

○委員長（足田 仁司） そうですね。

被災地のニュースでよくよく調べてみたら指定区域になってたとか、後からいろいろと、あれがちょっと嫌だなと。

○委員（椿野 仁司） 但東町でも前あったよね。そこを土地を売って、後でいろいろとトラブったことがあったな。土砂災害の指定だとか。

○委員（福田 嗣久） ありましたな。福田さんにひどい目に遭ったと。

○委員（椿野 仁司） そうそうそう。福田が来い来いって言ったのに。

○委員（浅田 徹） あれは、広島に行ったんですけど、レッドゾーンのところで、やっぱりそこへ集中して二十何人とか、みんな亡くなるとるんですよ。みんな住宅が、とんでもない状況のところはやっぱり指定していつてますので、それはしっかり把握してそういう危険箇所はやっぱり危ないということだと思うんです。最後はやっぱり個人さんのことになっちゃうんだけどね。

○委員（福田 嗣久） 治水の場合は全体でできるけど、治山の場合は個人負担があるから、結局1人だから、もう逃げるわ、ほっといてという人が結構あるから。

○委員長（足田 仁司） みんなでうちゅうわけにはいかへんな。

○委員（福田 嗣久） うちらでもう逃げるからほっといてって。

○委員長（足田 仁司） また締めてから自由に発言してください。

それでは、次回は先ほど申したような進め方で進みたいと思いますので、よろしくお願いします。

次は、（４）の委員の選出についてを協議します。

議会の改選役員のうち、職名によって委嘱を受けるもの、または委員会の互選により委嘱を受けるものについて、別紙３に記載のとおり、豊岡市災害対策本部出席者、この１件が防災対策調査特別委員会での委嘱の選出対象であります。役職名により、委員長が委嘱を受けることになります。

以上、ご確認をお願いします。

○委員（椿野 仁司） 呼ばれないことを望んでおり

ます。

○委員長（足田 仁司） そうですね。

○委員（奥村 忠俊） いや、これは当たり年は大変なんじゃないですか。

○委員（椿野） 誰だな、おったな。

○委員長（足田 仁司） あとは神頼みにならないようにせんなんのですけども、はい。

次に、（５）のその他ということで、委員の皆さんから何かありましたらお願いをします。

○委員（椿野 仁司） ありません、もう。

○委員（福田 嗣久） 別にございません。

○委員（浅田 徹） 管外視察はちょっと前向きに、コロナ禍ですけども、まあまあ状況を見て、やはり非常にヒントになることが多いんで、前向きに考えていただいたら、状況を見ながらですけども。全く今、行きませんかということじゃなくて、どうでしょうか。

○委員（椿野 仁司） 状況を見ながら。

○委員長（足田 仁司） 奥村委員。

○委員（奥村 忠俊） 近年、大変大きな災害が発生している部分が増えておりますわね、全国的に。それを全部見ないけども、豊岡も２０年前に大きな災害があったんですけども、やっぱりそういったところの新しい工事だとか、あるいは災害対策というところもあると思うんですね。コロナがあつて言われたら、もう本当に出れなくなっちゃうんですけども、しかし、災害対策の特別委員会ですから、そういったやっぱり先進的なことだとか、あるいは被害があったところの直し方だとか、整備の仕方という部分については、やっぱり目で見えてくるということも非常に大事だなと思って、今、浅田さんも言われたんですけども、そういうことも可能なら、ひとつ委員会でやっていただくということで、お願いしておきたいと思いますけど。

○委員長（足田 仁司） 以上、よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして本日の防災対策調査特別委員会を終了いたします。ご苦労さまでした。

午前１０時５３分閉会

